

## スキー指導者検定 課題と評価の観点

### ■公認スキー指導員

実技種目	斜面設定	回転数	評価の観点
プルークボーゲン	緩斜面・整地	4～6回転	ターンの構成 ●ポジショニング
プルークボーゲンからベーシック パラレルターンへの展開	緩斜面・整地	6～8回転	●エッジング 運動要領への適応度
横滑りのショートリズムからベーシック パラレルターン小回りへの展開	中急斜面・ナチュラル	フリー	●スピードと回転弧 運動の質的内容
シュテムターンからベーシック パラレルターンへの展開	中急斜面・ナチュラル	6～8回転	●バランス・リズム・タイミング 運動要領への適応度・習熟度
総合滑降・リズム変化	総合斜面・ナチュラル	フリー	●スピードと回転弧のコントロール ターンの構成
パラレルターン小回り	中斜面・不整地を含む ナチュラル	フリー	●ポジショニング、エッジング 運動の質的内容（運動ぶり）
			●バランス・リズム・タイミング

- ① 実技テストは、検定員3名の評価とし、3名の評価の平均値（小数一位を四捨五入）を当該種目の取得ポイントとする。
- ② 実技テストは、各種目とも80ポイントを基準とし、6種目中4種目が80ポイント以上とし、合計480ポイント以上を合格とする。
- ③ 理論テストは、満点に対して60%以上を合格とする。
- ④ 総合判定は、同一年度内における実技テスト及び理論テストの合格で、総合合格とする。

### 公認スキー準指導員

実技種目	斜面設定	回転数	評価の観点
プルークボーゲン	緩斜面・整地	4～6回転	ターンの構成 ●ポジショニング
プルークボーゲンからベーシック パラレルターンへの展開	緩斜面・整地	6～8回転	●エッジング 運動要領への適応度
横滑りのショートリズムからベーシック パラレルターン小回りへの展開	中急斜面・ナチュラル	フリー	●スピードと回転弧 運動の質的内容
シュテムターンからベーシック パラレルターンへの展開	中急斜面・ナチュラル	6～8回転	●バランス・リズム・タイミング 運動要領への適応度・習熟度
総合滑降・リズム変化	総合斜面・ナチュラル	フリー	●スピードと回転弧のコントロール ターンの構成
パラレルターン小回り	中斜面・不整地を含む ナチュラル	フリー	●ポジショニング、エッジング 運動の質的内容（運動ぶり）
			●バランス・リズム・タイミング

- ① 実技テストは、検定員3名の評価とし、3名の評価の平均値（小数点第1位を四捨五入）を当該種目の取得ポイントとする。
- ② 実技テストは、各種目とも75ポイントを基準とし、6種目中4種目が75ポイント以上とし、合計450ポイント以上を合格とする。
- ③ 理論テストは、満点に対して60%以上を合格とする。
- ④ 総合判定は、同一年度内における実技テスト及び理論テストの合格で、総合合格とする。

# 公認スキーバッジ・テスト

## 1. プライズ・テスト (クラウン・テクニカル)

テスト区分	種 目	斜面設定	評価の内容	評価の基準	受験資格
クラウン	パラレルターン 大回り (ナチュラル)	急斜面	状況・条件に対応して滑る能力 1. ターン運動の構成 (ポジショニングとエッジング) 2. 斜面状況への適応度 (スピードとターン弧の調整) 3. 運動の質的内容 (バランス、リズム、タイミング)	・1種目の最大値100ポイント×4種目 ・取得ポイントは検定員3名の平均値とし、小数点第1位を四捨五入する。 ・320ポイント以上を合格点とする。	・13歳以上 (中学生以上) ・SAJ会員登録者 ・テクニカル取得者 ・事前講習修了者
	パラレルターン 小回り (ナチュラル)	急斜面			
	パラレルターン 小まわり (不整地)	中急斜面			
	フリー滑降 (ナチュラル)	総合斜面			
テクニカル	パラレルターン 大回り (ナチュラル)	急斜面	状況・条件に対応して滑る能力 1. ターン運動の構成 (ポジショニングとエッジング) 2. 斜面状況への適応度 (スピードとターン弧の調整) 3. 運動の質的内容 (バランス、リズム、タイミング)	・1種目の最大値100ポイント×4種目 ・取得ポイントは検定員3名の平均値とし、小数点第1位を四捨五入する。 ・300ポイント以上を合格点とする。	・13歳以上 (中学生以上) ・SAJ会員登録者 1級取得者 ・事前講習修了者
	パラレルターン 小回り (ナチュラル)	急斜面			
	パラレルターン 小まわり (不整地)	中急斜面			
	フリー滑降 (ナチュラル)	総合斜面			

## 2. 級別テスト (1級)

テスト区分	種 目	斜面設定	実地要領	評価の基準	受験資格
1級	パラレルターン 大回り (ナチュラル)	急斜面	状況・条件に対応して滑る能力 1 ターン運動の構成 (ポジショニングとエッジング) 2 斜面状況への適応度 (スピードとターン弧の調整) 3 運動の質的内容 (バランス、リズム、タイミング)	・1種目の最大値100ポイント×4種目 ・取得ポイントは検定員3名の平均値とし、小数点第1位を四捨五入する。 ・280ポイント以上を合格とする。	・年齢制限は設けない。 ・2級取得者 ・事前講習修了者
	基礎パラレルターン 小回り (ナチュラル)	急斜面			
	パラレルターン 小回り (不整地)	中急斜面			
	総合滑降 (ナチュラル)	総合斜面			

## 3. 級別テスト (2～5級)

テスト区分	種 目	斜面設定	評価の内容	評価の基準	受験資格
2級	基礎パラレルターン 大まわり (ナチュラル)	中急斜面	状況・条件に対応して滑る能力 1 ターン運動の構成 (ポジショニングとエッジング) 2 斜面状況への適応度 (スピードとターン弧の調整) 3 運動の質的内容 (バランス、リズム、タイミング)	・1種目の最大値100ポイント×3種目 ・取得ポイントは検定員3名の平均値とし、小数点第1位を四捨五入する。 ・195ポイント以上を合格とする。	年齢制限は設けない。
	基礎パラレルターン 小まわり (ナチュラル)	中斜面			
	シュテムターン (ナチュラル)	中斜面			
3級	基礎パラレルターン (整地)	緩～中斜面	状況・条件に対応して滑る能力 1 ターン運動の構成 2 斜面状況への適応度 3 運動の質的内容	・1種目の最大値100ポイント×2種目の合計120ポイント以上を合格とする。 ・公認検定員が講習を通じ、「傾斜地での移動技術」の回転技術を指導し、運動課題の到達度を評価する。	年齢制限は設けない。
	シュテムターン (整地)	緩～中斜面			
4級	ブルークボーゲン (リズム変化) (整地)	緩・中斜面	状況・条件に対応して滑る能力 ターンの構成、斜面への適応度、制動技術の習得	・最大100ポイントとし、55ポイント以上を合格。 ・公認検定員が講習を通じ、「傾斜地での移動技術」の制動技術と回転技術を指導し、滑りの度合いを評価する。	年齢制限は設けない。
5級	ブルークボーゲン (整地)	緩斜面	状況・条件に対応して滑る能力 ターンの構成、斜面への適応度、制動技術の習得	・最大100ポイントとし、50ポイント以上を合格。 ・公認検定員が講習を通じ、「傾斜地での移動技術」の制動技術と回転技術を指導し、滑りの度合いを評価する。	年齢制限は設けない。

## ジュニア検定

テスト区分	実技種目	斜面設定	要領・評価の基準	受験資格
1級	パラレルターン 大回り（整地）	中急斜面	中斜面種目の到達度 ・実技1種目当たり最大100ポイントとし×3種目の評価の合計が210ポイント以上をもって合格とする。 ・テストは公認検定員3名の評価とし、3名の平均値を当該種目の取得ポイントとする。ただし、小数点以下第1位を四捨五入する。	12歳以下 *事前講習修了者
	パラレルターン 小回り（整地）	中斜面		
	フリー滑降	中級コース		
2級	パラレルターン 大回り（整地）	中～中急斜面	実践講習テスト ・公認検定員（講師）が、講習の中で「傾斜地での移動技術」の回転技術を指導し、達成度を評価する。 ・実技1種目当たり最大100ポイントとし、2種目の評価の合計が130ポイント以上をもって合格とする。	12歳以下
	パラレルターン 小回り（整地）	中斜面		
3級	パラレルターン 大回り（整地）	中斜面	実践講習テスト ・公認検定員（講師）が、講習の中で「傾斜地での移動技術」の回転技術を指導し、達成度を評価する。 ・実技1種目あたり最大100ポイントとし、1種目の評価が60ポイント以上を合格とする。	12歳以下
4級	パラレルターン（初歩）中回り	緩・中斜面	実践講習テスト ・公認検定員（講師）が、講習の中で「傾斜地での移動技術」の回転技術を指導し、できる能力を評価する。 ・実技1種目あたり最大100ポイントとし、1種目の評価が55ポイント以上を合格とする。	12歳以下
5級	プルークボーゲン（リズム変化）が楽しくできる	緩斜面	実践講習テスト ・公認検定員（講師）が、講習の中で「平地での移動技術」と「傾斜地での移動技術」の制動技術としての停止と回転技術を楽しませながら指導し、できる能力を評価する。 ・実技1種目当たり最大100ポイントとし、1種目の評価が50ポイント以上を合格とする。	12歳以下
6級	プルーク停止とプルークボーゲンが楽しめる）	ごく緩い斜面	実践講習テスト ・公認検定員（講師）が、講習の中で「平地での移動技術」と「傾斜地での移動技術」の制動技術としての停止と回転技術を楽しませながら指導し、滑れる度合いを評価する。 ・制度技術と回転技術の講習を修了することで評価する。	12歳以下

※1級、2級はポール設定によるタイム測定により総合判定する場合があります。

※スーパージュニアについては、環境が整い次第行うよていです。

スノーボード技能テスト基準及び実施要項

平成29年8月22日改正

級	種目	技能到達・習熟の目安と評価の観点	斜面	採点基準（合否判定）	受検資格	事前講習料	検定料	公認料
1級	ミドルターン	マテリアルの特性を活かす技術	中斜面	検定会検定 検定員2名以上 1種目最大100ポイント ×3種目の合計が210ポイント以上を合格とする。取得ポイントは検定員2名以上の合計ポイントの平均値（小数点第一位を四捨五入）	・6歳以上（小学生以上）でかつ、受験年度事前講習修了者かつ2級取得者	2,000円	3,000円	3,300円
	ショートターン							【SAJ登録】 3,500円
	フリーラン							【クラブ登録】 1,000円
2級	ミドルターン	・スノーボードを自在に動かす技術	緩中斜面	講習内検定 検定員1名 1種目最大100ポイント ×3種目の合計が195ポイント以上を合格とする			2,000円 講習料含む	3,000円
	ショートターン							
	フリーラン							
3級	ミドルターン	・リズムを制御する技術	緩斜面	講習内検定 検定員1名 1種目最大100ポイント ×3種目の合計が180ポイント以上を合格とする	・6歳以上（小学生以上）		2,000円 講習料含む	1,500円
	スリップTOスリップ							
	フリーラン							
4級	ストレートランニング～ストップ	・フォールラインへの対応技術	ごく緩い斜面	講習内検定 検定員1名 1種目最大100ポイント *2種目の合計が110ポイント以上を合格とする			2,000円 講習料含む	1,400円
	フリーラン		緩斜面					
5級	サイドスリップ	・安全に斜面を降りる技術	緩斜面	講習内検定 検定員1名 1種目最大100ポイント *2種目の合計が100ポイント以上を合格とする			2,000円 講習料含む	1,300円
	フリーラン							

・会場の設定コース状況を把握し、前走者を活用する等、安全に留意し、コースの長さ、幅、回転数などの規制については検定員の判断にゆだねる。

スノーボード指導員・準指導員検定基準及び実施要項

平成29年8月22日改正

	種目	技能到達・習熟の目安と評価の観点	斜面	採点基準（合否判定）
指導員	フリーラン	実践種目	急斜面	実技種目の合格基準 ・1種目最大100ポイント×6種目の480ポイント以上を合格とする ・取得ポイントは検定員3名の評価の平均値とし、小数点以下第一位を四捨五入する。ただし実技検定の合計が480ポイント以上であっても6種目中5種目が80%以上でなければならない。  ・100点満点とし、60%以上をもって合格とする。
	フリーラン		中急斜面	
	フリーラン		緩斜面	
	ミドルターン	指導種目	中斜面	
	ショートターン		緩斜面	
	トラバース～スピンの			
	筆記試験			
準指導員	ミドルターン	実践種目	中急斜面	実技種目の合格基準 ・1種目最大100ポイント×6種目の450ポイント以上を合格とする。 ・取得ポイントは検定員3名の平均値とし、小数点以下第一位を四捨五入する。ただし実技検定の合計が450ポイント以上であっても6種目中5種目が75%以上でなければならない。  ・100点満点とし、60%以上をもって合格とする。
	ショートターン			
	フリーラン			
	ミドルターン	指導種目	緩中斜面	
	スイングTOスイング		緩斜面	
	トラバース～ジャンプ			
	筆記試験			

(注：受験年度の教育本部オフィシャルブック、TOTAL SNOW BOARDING (SAJ スノーボード教程)、日本スキー教程安全編、資格検定受験者のためにを確認の事)